



にじのはし幼稚園

園だより

平成29年1月号
港区立にじのはし幼稚園
園長 酒井 正美

あけましておめでとう みんなとあえておめでとう
いっしょにあそべておめでとう みんながたのしいようちえん

新年明けましておめでとうございます。

充実の冬休み、楽しい年末年始を過ごされたことと思います。子どもたちからは、冬休み中に経験したこと、楽しんだことが、会話や遊びなどに出てくることでしょう。

そのような姿を受け止め、遊びや生活の中に生かしながら、3学期をスタートいたします。

さて、年末年始は1年を振り返り、新年への思いを新たにいたしますが、昨年末にお邪魔したお宅で、「無事是貴人（ぶじこれきにん）」と書かれた掛け軸を拝見する機会がありました。「何事もなく無事に暮らせました。来年も無事に暮らせますように」と、感謝と願いを込めて掛けられることが多いようです。しかし、この言葉には、「様々思い惑い、外に向かってあれこれ探し求めることなく、自分の内なるものを見つめ、その時その時の一事一事を精一杯行うこと、それ貴人」という意味があると聞きました。

諸外国で幼児教育が重要視される中、日本でも待機児童、次期幼稚園教育要領・学習指導要領、就学前教育等々、子育てや教育に関わる話題が多く取り上げられています。保育と教育を区別して考えること、小学校以降生涯にわたる学習の基盤となることなど、幼児教育の現場にいる教員は、質の高い幼児教育の実践に向け広い視野をもつことが求められます。様々な課題に対することも多くありますが、何といても一番の大事は、目の前の子どもたちと真摯に向き合うことです。一人一人の実態、心の育ちをしっかりと見取り、育ちへの見通しをもち、今何を育てるのかを考え援助することです。

「無事是貴人」の意味に触れ、幼児教育に照らし合わせ、子どもたちの顔を思い浮かべながら思いを巡らせる年頭でした。教職員一同、子どもたちの今と未来を支える幼稚園として、真摯に取り組んで参ります。本年も、どうぞよろしく願いいたします。

